

ひとこと

ください

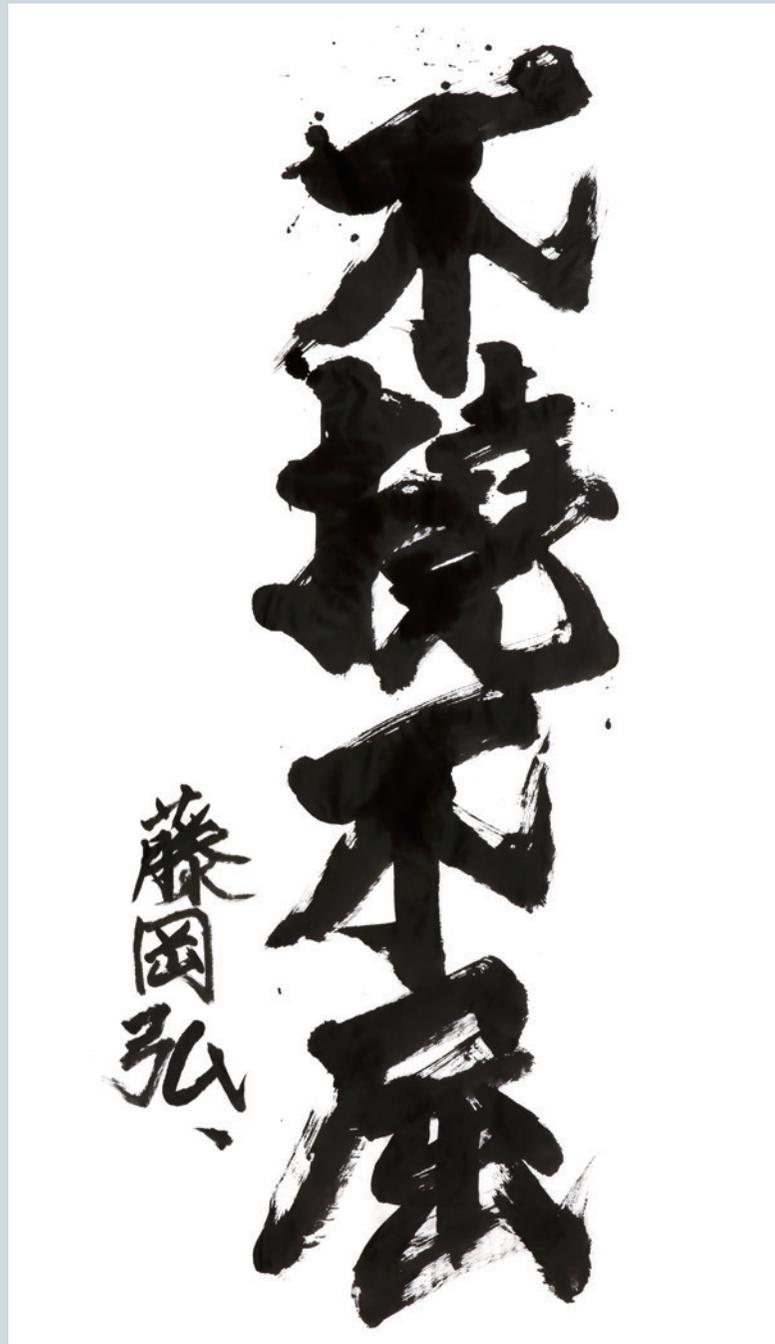
第一回

藤岡弘、

Text / Taisuke Shimanuki
Photo / Ko Hosokawa



PROFILE 1965年松竹映画にてデビュー後、71年の「仮面ライダー」で一躍ヒーローに。その後、スタントを自らこなすアクション俳優として映画界を牽引。「日本沈没」「野獣死すべし」などで主役を務める。84年、ハリウッド映画「SFソードキル」の主役に抜擢され、日本人として初めて全米映画俳優組合のメンバーとなる。武道家としても知られ、あらゆる武道に精通。世界各地の紛争地域、難民キャンプにて救援や支援活動も行っている。



どんな困難な状況にあっても諦めず、挫けず、まっすぐに突き進む。そんな人生に対する強い意志を「不撓不屈」の4文字に込めました。これは古来から伝わる真のサムライ魂の覚悟の現れであって、私は常にこの言葉を胸に刻み、自問自答しながら生きています。

1980年代前半。ハリウッド映画に出演するために、私は誰に頼ることなく単身で渡米しました。その時に私が決意していたのは、役者として日本のサムライ像を演じるのではなく、本質をつかんで「なりきる」ということです。そのために刀匠に特別に打っていただいた一振りの刀を携え、オーディションに臨み、主役を射止めました。

名前を「藤岡弘、」としたのも、この時です。「、」がないと、流されていく、「。」では、終わってしまう。当時のアメリカには日本文化に対する正しい理解が欠けていて、撮影にあたって何度となくスタッフと話し合いました。「、」を打つことで、私はサムライの精神を世界に伝える不退転の覚悟を固めたのです。一生修行、我まだ未完成なり。故に精進し続ける。「不撓不屈」も「、」も、己磨きの旅の決意表明なのです。